

# コンテナターミナルゲート高度化に対する補助事業の公募概要

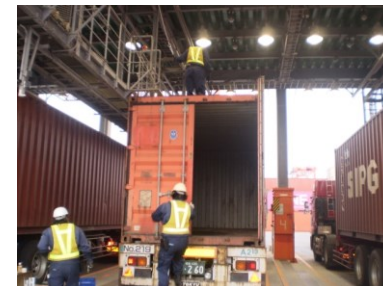
- コンテナ船の大型化によりコンテナ積卸個数が増加することで、トレーラーの来場時間が特定の日に集中し、ターミナル前での渋滞発生の要因となっている。
- また、2024年問題による陸運事業者の人的リソース不足の対策として、ターミナルでの待機時間を最少化する必要がある。
- これらの課題を解決するため、ターミナルゲート作業を迅速化・効率化するための高機能なゲートの導入を支援する。

## ＜現状のゲート作業＞

- 書類のやり取りやダメージチェックといった現場での作業が発生。
- ターミナルの入場には、車両1台ごとに、これら全ての作業が完了する必要がある。(1台あたり最大3～5分程度要する。)
- これに加えて、ゲート前での渋滞による待機時間が発生。



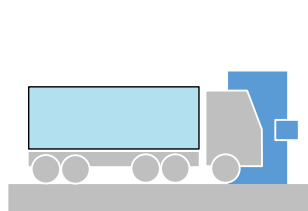
ターミナル内の行先(プラカード)を手交



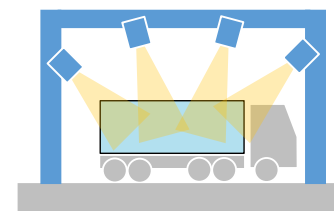
目視でのコンテナダメージチェック

## ＜高機能なゲートの導入＞

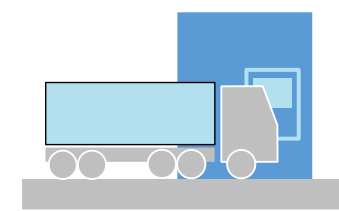
- 来場予約システムの導入による、来場するトレーラーの平準化、予約情報の確認の効率化。
- ダメージチェックシステムの導入による、コンテナの目視確認の効率化。
- 搬入情報の事前照合、ターミナル内行先指示の電子化、その他書類のやり取りの効率化。



○ 予約情報の確認



○ コンテナダメージチェック  
○ コンテナ番号、シール番号読取



○ 搬入情報の事前照合  
○ 行先指示書の発行  
○ 機器受渡書(EIR)の返却

## 公募概要

### 【対象事業】

- コンテナターミナルゲートの高度化に必要となる施設の整備

### 【補助対象者】

- 民間事業者

### 【対象港湾】

- 国際戦略港湾(京浜港、大阪港、神戸港)

### 【対象施設】

- コンテナターミナルゲートの高度化に必要となる施設  
(埠頭保安設備の一部として整備されるゲートの本体部分は除く)

### 【補助率】

- 1/3以内

### 【事業選定プロセス】

- 公募方式の事業選定スキームにより、応募のあった事業計画の内容を審査した上で、事業者や事業実施港湾等を決定。